

平成27年度

木造建築学校 フィールド実習

県産材の更なる利用拡大のためには、公共施設や非住宅建築物の木造推進に加え、これからは既存木造住宅のリフォームやリノベーションへの取組みも重要な課題となってきた。しかし、木造住宅のリフォームやリノベーションを適切に施工するためには、木材の性質や木造建築についての専門的知識を持った技術者が必要となるが、その人数は、大工の高齢化に伴い減少の一途である。また、県南の沿岸地域においては、南海トラフ地震による津波被害を想定した、事前復興計画の重要性が謳われている。その中で、県産材による公共建築物による先行高地移転や震災前過疎を緩和する県産木造住宅を十二分に活用することができる知識・技術を持った担い手の育成が必要である。

そこで、「木造建築学校」での座学に加え、具体的な地域事例をモデルとして、フィールドワークによる実習を行い、こうした人材を養成する。



この事業は「平成 27 年度林業まると人材育成事業（木造建築学校フィールド実習）」により実施するものです。

主催：徳島県・公益社団法人徳島県建築士会

運営協力：建築士会木造建築研究会

(1) 木造リフォーム・リノベーション実習

対象
若手大工
若手建築士

実習場所：海部郡牟岐町出羽島

実習期間：2泊3日程度を予定

短期集中型の木造住宅リフォームや空き家のリノベーション実習を実施。地域住民の意見や要望を聞き取るフィールドワークも併せて行う。

- ・県産材活用のための実習講座
- ・古い町並み活用のための実習講座
- ・インスペクション（建物検査）と実習訓練
- ・基礎的規矩術と実習訓練
- ・リフォーム技術と実習訓練
- ・地域住民との交流ワークショップ

参加申込み・お問い合わせ

徳島県建築士会 木造建築研究会 事務局

TEL（専用携帯） 080-1996-7331

E-Mail tokushimamokuken@yahoo.co.jp



(2) 県産木造住宅・事前復興町づくり実習

対象
建築を目指す学生
若手建築士

計画場所：海部郡美波町由岐湾内地区の住宅・住宅地計画
※コンペの詳細は徳島県建築士会HPをご確認下さい。

地域材を活用したコンペ形式の事前復興住宅や町づくり実習を実施。コンペの中で地域住民の意見や要望を聞き取るフィールドワークを実施する。

- ・県産材利用の基礎知識について
- ・県南部の古い町並みについて
- ・地域住民の自主防災活動と課題について
- ・普段づかいができる町づくりについて
- ・計画敷地周辺の説明と現地調査
- ・地域住民との交流ワークショップ

参加申込み・お問い合わせ

徳島県建築士会 由岐コンペ事務局

TEL（専用携帯） 080-8634-2322

E-Mail yukicompe-sikai@md.pikara.ne.jp



[公社] 徳島県建築士会は、
徳島県県産材利用推進条例
を推進しています！

※写真はイメージです。